

析患者の角膜輪部石灰化. 第51回富山眼科集談会, 2004. 12, 富山.

40) 中村伸男, 早坂征次, 早坂依里子: 血清P-ANCAが高値を示した強膜炎の1例. 第51回富山眼科集談会, 2004. 12, 富山.

41) 渡辺このみ, 早坂征次, 中村美佳, 早坂依里子, 大森友明: 傾斜乳頭症候群と頭蓋内動脈瘤がみられた一例. 第51回富山眼科集談会, 2004. 12, 富山.

## 耳 鼻 咽 喉 科 学

### Otorhinolaryngology

教 授	渡辺 行雄	Yukio Watanabe
助 教 授	麻生 伸	Shin Aso
助 教 授	中川 肇	Hajime Nakagawa (学内併任・医療情報部)
講 師	將積日出夫	Hideo Shojaku
講 師	浅井 正嗣	Masatsugu Asai
助 手	安村佐都紀	Satsuki Yasumura
助 手	藤坂実千郎	Michiro Fujisaka
助 手	十二町真樹子	Makiko Junicho
助 手	石田 正幸	Masayuki Ishida
助 手	和田倫之助	Rinnosuke Wada
助 手(前)	伏木 宏彰	Hiroaki Fushiki
前任技術員	武田 精一	Seiichi Takeda

#### ◆ 著 書

- 1) 麻生 伸: 蝸電図が必要なとき. 「新生児聴覚スクリーニング-早期発見・早期教育のすべて-」, 44-49, 金原出版, 東京, 2004.
- 2) 將積日出夫: 音響外傷. 「家庭医学大全科」, 1651-1652, 法研, 東京, 2004.
- 3) 將積日出夫: 騒音性難聴. 「家庭医学大全科」, 1652, 法研, 東京, 2004.
- 4) 將積日出夫: 老人性難聴. 「家庭医学大全科」, 1653-1654, 法研, 東京, 2004.
- 5) 將積日出夫: 先天性難聴. 「家庭医学大全科」, 1654-1655, 法研, 東京, 2004.
- 6) 將積日出夫: 突発性難聴. 「家庭医学大全科」, 1655, 法研, 東京, 2004.
- 7) 將積日出夫: 薬剤性難聴. 「家庭医学大全科」, 1656, 法研, 東京, 2004.
- 8) 將積日出夫: 機能性難聴. 「家庭医学大全科」, 1656-1657, 法研, 東京, 2004.
- 9) 將積日出夫: 外リンパ瘻. 「家庭医学大全科」, 1658, 法研, 東京, 2004.

#### ◆ 原 著

- 1) Fushiki H., Yasuda K., Maruyama M., Watanabe Y.: Effects of head tilt on the direction of vertical postrotatory nystagmus in cats. Brain Res. 1015, 202-206, 2004.
- 2) Maruyama M., Fushiki H., Yasuda K., Watanabe Y.: Asymmetric adaptive gain changes of the vertical vestibulo-ocular reflex in cats. Brain Res. 1023, 302-8, 2004.
- 3) 安村佐都紀, 將積日出夫, 渡辺行雄: 温度刺激

検査時の自律神経症状と対策—嘔気症状とその要因—. *Equilibrium res.* 62(6):555-562, 2003.

- 4) 石田正幸, 川崎 匡, 渡辺行雄: ネコの水平・垂直性視運動性眼振と視運動性後眼振の解析. *日本耳鼻咽喉科学会会報* 107(3):179-187, 2004.
- 5) 將積日出夫, 本島ひとみ, 丸山元祥, 十二町真樹子, 安村佐都紀他: 中耳加圧療法の問題点. *Otology Jpn* 14:240-243, 2004.
- 6) 藤坂実千郎, 將積日出夫, 坂井一憲, 荒井博史, 石川 靖, 渡辺行雄: モールドレジストレーション(鑄型登録)の提案. *耳鼻咽喉科展望* 47(5):387-389, 2004.
- 7) 和田倫之助, 浅井正嗣, 將積日出夫, 安村佐都紀, 十二町真樹子, 渡辺行雄, 嶋田 豊: 喉頭肉芽腫に対する六君子湯の効果について. *耳鼻と臨床* 50(4):338-343, 2004.
- 8) 浅井正嗣, 小林健二, 渡辺行雄: 3次元動作解析の体平衡評価への利用. 第25回バイオメカニズム学術講演会予稿集, 187-190, 2004.

#### ◆ 総 説

- 1) 渡辺行雄, 十二町真樹子: 低音障害型感音難聴と耳閉塞感. *Monthly Book ENTONI* 35別冊: 23-26, 全日本病院出版会, 東京, 2004.
- 2) 渡辺行雄: 特集/スポーツと耳鼻咽喉科. 運動選手の平衡機能. *臨床スポーツ医学* 21(8):867-873, 文光堂, 東京, 2004.
- 3) 渡辺行雄: 三次元画像解析による体平衡評価—足踏み運動の解析—. *日耳鼻専門医通信*80:14-15, 2004.
- 4) 渡辺行雄: 平衡機能の生理と病態. *体力科学*53(5):567-574, 2004.
- 5) 渡辺行雄: 平衡機能検査. 第18回日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会テキスト, 211-218, 2004.
- 6) 伏木宏彰, 麻生 伸: 注視眼振検査—実地医家のための検査法—. *JOHNS* 20(3):341-344, 東京医学社, 東京, 2004.
- 7) 坪田雅仁: 頭蓋内合併症—脳膿瘍—. *JOHNS* 20(9):1229-1232, 2004.

#### ◆ 学会報告

- 1) 武田精一: ライブストリーミング技術を用いた学内会議インターネット中継システムの構築経験. 平成15年度高エネルギー加速器研究機構技術研究会, 2004, 2, つくば.
- 2) 武田精一: WebDAVを用いた医局内ファイルサーバの学外共有. 第20回耳鼻咽喉科情報処理研究会, 2004, 2, 横浜.
- 3) 小林健二, 浅井正嗣, 伏木宏彰, 渡辺行雄: ビ

デオ動作解析法による体平衡評価. 第3回「姿勢と歩行」研究会, 2004, 3, 東京.

- 4) H. Fushiki, K. Kobayashi, M. Asai and Y. Watanabe. The influence of visually induced self-motion on postural stability. The 10th JAPAN-KOREA Joint Meeting of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery. 2004, 4, Tokyo.
- 5) M. Maruyama, H. Fushiki, K. Yasuda and Yukio Watanabe. Asymmetrical adaptation of vertical vestibulo-ocular reflex in cats. The 10th JAPAN-KOREA Joint Meeting of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery. 2004, 4, Tokyo.
- 6) 十二町真樹子, 麻生 伸, 渡辺行雄, 尾矢剛志: 耳下部に生じたLeiomyosarcomaの症例. 第42回日耳鼻富山県地方部会, 2004, 4, 富山.
- 7) 和田倫之助, 將積日出夫, 安村佐都紀, 浅井正嗣, 渡辺行雄: 当科におけるFDG-PETの使用経験. 第42回日耳鼻富山県地方部会, 2004, 4, 富山.
- 8) 小林健二, 浅井正嗣, 和田倫之助, 渡辺行雄: 三歳未満児の睡眠時無呼吸症候群に対する手術症例について. 第42回日耳鼻富山県地方部会, 2004, 4, 富山.
- 9) 上田結花里, 將積日出夫, 中川 肇, 渡辺行雄: 14歳で発症した一側性の聴神経腫瘍の1例. 第42回日耳鼻富山県地方部会, 2004, 4, 富山.
- 10) 石川亜紀, 和田倫之助, 石田正幸, 安村佐都紀, 將積日出夫, 渡辺行雄, 峯村正実, 新敷吉成, 村上 純: サイトメガロウイルス単核症の3症例. 第14回北陸耳鼻咽喉科感染症研究会, 2004, 4, 金沢.
- 11) 石田正幸, 安村佐都紀, 麻生 伸, 渡辺行雄: 歯肉部Mixoid chondrosarcoma頸部リンパ節転移の一症例. 第22回北陸頭頸部腫瘍研究会, 2004, 4, 金沢.
- 12) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 小林健二: 体平衡画像解析の定量的評価法の検討. 第105回日本耳鼻咽喉科学会, 2004, 5, 広島.
- 13) 浅井正嗣, 小林健二, 渡辺行雄: 3次元動作解析の精度の検討—動作空間について—. 第105回日本耳鼻咽喉科学会, 2004, 5, 広島.
- 14) 藤坂実千郎, 將積日出夫, 渡辺行雄: ナビゲーションシステム: モールドレジストレーションの提案. 第105回日本耳鼻咽喉科学会, 2004, 5, 広島.
- 15) 伏木宏彰, 安田恵子, 渡辺行雄: 回転後眼振の

- 空間位置記憶. 第105回日本耳鼻咽喉科学会, 2004, 5, 広島.
- 16) 十二町真樹子, 麻生 伸, 木村 寛, 渡辺行雄: 低音障害型感音難聴の臨床経過と予後. 第105回日本耳鼻咽喉科学会, 2004, 5, 広島.
- 17) 和田倫之助, 將積日出夫, 藤坂実千郎, 渡辺行雄: コンタクトスコープを用いた舌茸状乳頭血流観察の工夫. 第297回日耳鼻北陸地方部会連合会, 2004, 6, 金沢.
- 18) 小林健二, 浅井正嗣, 渡辺行雄: マン姿勢の三次元動作解析. 第297回日耳鼻北陸地方部会連合会, 2004, 6, 金沢.
- 19) 安村佐都紀, 將積日出夫, 渡辺行雄: 温度眼振検査中の自律神経機能. 第66回耳鼻咽喉科臨床学会, 2004, 6, 青森.
- 20) 坪田雅仁, 將積日出夫, 藤坂実千郎, 渡辺行雄: メニエール病患者の外来受診状況について. 第66回耳鼻咽喉科臨床学会, 2004, 6, 青森.
- 21) 麻生 伸, 十二町真樹子, 藤坂実千郎, 渡辺行雄: ゴルフクラブ電極を用いた正円窓蝸電図の試み. 第34回日本聴覚医学会ERA研究会, 2004, 7, 東京.
- 22) 藤坂実千郎, 十二町真樹子, 丸山元祥, 渡辺行雄: 抗血栓療法の副作用. 第52回中部地方部会連合会, 2004, 7, 名古屋.
- 23) 浅井正嗣, 和田倫之助, 十二町真樹子, 安田恵子, 安村佐都紀, 將積日出夫, 麻生 伸, 渡辺行雄: 小児気管支異物症例の検討. 第298回日耳鼻北陸地方部会連合会, 2004, 8, 金沢.
- 24) 十二町真樹子, 麻生 伸, 渡辺行雄: 低音障害型感音難聴の臨床経過. 第298回日耳鼻北陸地方部会連合会, 2004, 8, 金沢.
- 25) 和田倫之助, 將積日出夫, 藤坂実千郎, 渡辺行雄: コンタクトスコープを用いた口腔内粘膜観察の工夫. 第17回日本口腔咽頭科学会, 2004, 9, 神戸.
- 26) 小林健二, 浅井正嗣, 和田倫之助, 渡辺行雄: 三歳未満のアデノイド切除, 口蓋扁桃摘出術症例の検討. 第17回日本口腔咽頭科学会, 2004, 9, 神戸.
- 27) 石川亜紀, 安村佐都紀, 小林健二, 和田倫之助, 石田正幸, 渡辺行雄: 頭頸部癌化学療法の骨髄抑制に対する十全大補湯の効果. 第20回日本耳鼻咽喉科漢方研究会, 2004, 10, 東京.
- 28) 麻生 伸, 十二町真樹子, 藤坂実千郎, 武田精一, 渡辺行雄: 蝸電図を用いた高度難聴小児の残聴評価の試み. 第49回日本聴覚医学会, 2004, 10, 福岡.
- 29) 十二町真樹子, 麻生 伸, 木村 寛, 渡辺行雄: 急性低音障害型感音難聴の予後と病態について. 第49回日本聴覚医学会, 2004, 10, 福岡.
- 30) 武田精一, 麻生 伸, 渡辺行雄: 電子カルテに対応した聴覚検査部門サーバの構築. 第49回日本聴覚医学会, 2004, 10, 福岡.
- 31) 安村佐都紀, 將積日出夫, 渡辺行雄: 安村佐都紀, 將積日出夫, 渡辺行雄: カロリックテストの自律神経症状の予測の可能性. 第14回日本耳科学会, 2004, 10, 京都.
- 32) 上田結花里, 將積日出夫, 中川 肇, 渡辺行雄: 14歳で発症した一側性の聴神経腫瘍の1例. 第14回日本耳科学会, 2004, 10, 京都.
- 33) 浅井正嗣, 小林健二, 渡辺行雄: 3次元動作解析の体平衡評価への利用. 第25回バイオメカニズム学術講演会, 2004, 10, 厚木.
- 34) 藤坂実千郎, 麻生 伸, 渡辺行雄: 中耳手術における術中蝸電図モニタリングの有用性と問題点. 第6回耳鼻咽喉科ナビゲーション研究会, 2004, 11, 金沢.
- 35) 渡辺行雄, 浅井正嗣, 小林健二: 体平衡画像解析の定量的評価法. 第63回日本めまい平衡医学会, 2004, 11, 高崎.
- 36) 將積日出夫, 張瑞麗, 渡辺行雄: 強低音におけるモルモット胸鎖乳突筋誘発筋電位. 第63回日本めまい平衡医学会, 2004, 11, 高崎.
- 37) 浅井正嗣, 小林健二, 渡辺行雄: パンニングDLT法による歩行解析の試み. 第63回日本めまい平衡医学会, 2004, 11, 高崎.
- 38) 安村佐都紀, 將積日出夫, 渡辺行雄: めまい症例と正常人の自律神経機能の比較. 第63回日本めまい平衡医学会, 2004, 11, 高崎.
- 39) 石田正幸, 伏木宏彰, 渡辺行雄: 自己回転感に対する前庭刺激の影響. 第63回日本めまい平衡医学会, 2004, 11, 高崎.
- 40) 小林健二, 伏木宏彰, 浅井正嗣, 渡辺行雄: 垂直視運動刺激時の姿勢変化. 第63回日本めまい平衡医学会, 2004, 11, 高崎.
- 41) 本島ひとみ, 將積日出夫, 丸山元祥, 十二町真樹子, 安村佐都紀, 坪田雅仁, 渡辺行雄: 難治性内リンパ水腫疾患に対する中耳加圧療法の治療経験. 第63回日本めまい平衡医学会, 2004, 11, 高崎.
- 42) 浅井正嗣, 足立雄一, 石川亜紀, 和田倫之助, 安部英樹, 伏木宏彰, 木村 寛, 赤荻勝一, 安村佐都紀, 將積日出夫, 中川 肇, 麻生 伸, 渡辺

- 行雄：小児気道異物症例の検討。第56回日本気管食道学会総会，2004，11，東京。
- 43) 安村佐都紀，浅井正嗣，和田倫之助，小林健二，丸山元祥，石川亜紀，將積日出夫，麻生 伸，渡辺行雄：穿刺困難であった輪状甲状膜穿刺キットの使用経験。第56回日本気管食道学会総会，2004，11，東京。
- 44) 和田倫之助，浅井正嗣，將積日出夫，安村佐都紀，伏木宏彰，渡辺行雄：喉頭肉芽腫に対する六君子湯の有効性について。第56回日本気管食道学会総会，2004，11，東京。
- 45) 渡辺行雄，武田精一：電子カルテにおける各別独自処理の実際と重要性。第24回医療情報学連合大会（第5回日本医療情報学会学術集会），2004，11，名古屋。
- 46) 安村佐都紀，小林健二，丸山元祥，藤坂実千郎，將積日出夫，和田倫之助，渡辺行雄：輪状甲状膜穿刺キットの緊急時の使用経験。第43回日耳鼻富山県地方部会，2004，11，富山。
- 47) 藤坂実千郎，木村 寛，小林健二，渡辺行雄：クマによる顔面外傷性耳下腺管損傷の一例。第43回日耳鼻富山県地方部会，2004，11，富山。
- 48) 五十嵐良和：OK-432注入による頸部嚢胞の治療経験。第43回日耳鼻富山県地方部会，2004，11，富山。
- 49) 石川亜紀，安村佐都紀，安田恵子，小林健二，和田倫之助，石田正幸，渡辺行雄：頭頸部癌化学療法中の骨髄抑制に対する十全大補湯の使用経験。第15回北陸地区耳鼻咽喉科漢方研究会，2004，12，金沢。
- 50) 安村佐都紀，將積日出夫，渡辺行雄：めまい患者の自律神経機能—心電図RR間隔の検討—。第299回日耳鼻北陸地方部会連合会，2004，12，金沢。
- 51) 本島ひとみ，將積日出夫，丸山元祥，十二町真樹子，安村佐都紀，坪田雅仁，渡辺行雄：内リンパ水腫疾患に対する中耳加圧療法の治療経験。第299回日耳鼻北陸地方部会連合会，2004，12，金沢。
- 52) 浅井正嗣，渡辺行雄，二谷 武：小児の気管気管支肉芽症例の治療経験。第51回日本小児耳鼻咽喉科研究会，2004，12，東京。
- ◆ その他
- 1) 武田精一：Linuxによるインターネットサーバー構築入門。平成15年度東海・北陸地区国立学校等技術専門職員研修会（情報処理コース），2003，8，富山。
- 2) 渡辺行雄：前庭機能症例の疫学および病態評価に関する研究。「厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）平成15年度総括・分担研究報告書」163-165，2004。
- 3) 渡辺行雄，麻生 伸，十二町真樹子，木村 寛：急性感音性難聴難聴からメニエール病へ移行する症例の臨床的分析。「厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）平成15年度総括・分担研究報告書」166-168，2004。
- 4) 渡辺行雄，坪田雅仁，將積日出夫，藤坂実千郎：メニエール病患者の外来受診状況調査。「厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）平成15年度総括・分担研究報告書」169-170，2004。
- 5) 渡辺行雄，浅井正嗣，小林健二：三次元画像解析による体平衡の定量的評価（第一報）。「厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）平成15年度総括・分担研究報告書」171-172，2004。
- 6) 麻生 伸：乳幼児の聴覚発達と健診時のチェックポイントについて。平成15年度市町村保健師等母子保健研修会，2004，2，富山市。
- 7) 安村佐都紀：アレルギー性鼻炎—私の治療法—。第20回富山県耳鼻咽喉科臨床研究会，2004，2，富山。
- 8) 浅井正嗣：のどの痛くなる病気。第49回耳の日公開講座，2004，3，富山。
- 9) 渡辺行雄：耳鼻咽喉科における情報処理—アナログ情報から電子カルテまで—。関西耳鼻咽喉科研究会特別講演，2004，4，高岡。
- 10) 將積日出夫：最近のメニエール病の診断と治療。第17回阪神勤務医耳鼻咽喉科研究会，2004，4，尼崎。
- 11) 將積日出夫：危険な中枢性めまいを見逃さないためのポイント—検査のポイント—。第105回日本耳鼻咽喉科学会臨床セミナー(9)，2004，5，広島。
- 12) 麻生 伸：小児人工内耳手術前に必要な検査について。第187回富山県聴覚障害研究会，2004，5，富山。
- 13) Yukio Watanabe: Clinical significance of static and dynamic posturography. Dailian Medical University Second Affiliated Hospital lecture, 2004, 6, Dailian.
- 14) 渡辺行雄：めまいの病態と治療について。村上市岩船郡医師会学術講演会，2004，6，村上。
- 15) 十二町真樹子：耳の話。富山市健康教育講演，2004，6，富山。
- 16) 將積日出夫：口腔乾燥症—最近の話題—。第14回日本口腔粘膜学会ランチョンセミナー，2004，7，東京。

- 17) 渡辺行雄：眼振とENGの記録の見方。第34回日本めまい平衡医学会技術講習会，2004，7，富山。
- 18) 將積日出夫：GBSTとVEMP。第34回日本めまい平衡医学会技術講習会，2004，7，富山。
- 19) 武田精一：医学部耳鼻咽喉科学講座における技術職員の業務紹介。平成16年度東海・北陸地区国立大学法人等教室系技術職員合同研修（化学コース），2004，8，富山。
- 20) 安村佐都紀：気管切開におけるリスクマネジメント。第5回インシデント事例検討会，2004，9，富山。
- 21) 渡辺行雄：病態に対応しためまい症例の取り扱い。第14回日本耳科学会ランチョンセミナー，2004，10，京都。
- 22) 渡辺行雄：耳鼻咽喉科における情報処理とめまい診療における幾つかの話題。第5回上越耳鼻咽喉科セミナー，2004，10，上越。
- 23) 將積日出夫：VEMP検査。第27回日本平衡機能検査技術者特別講習会教育講演，2004，10，東京。

## 泌 尿 器 科 学

### Urology

教 授	布施 秀樹	Hideki Fuse
助教授(前)	古谷 雄三	Yuzo Furuya
講 師	永川 修	Osamu Nagakawa
講 師	水野 一郎	Ichiro Mizuno
助 手	十二町 明	Akira Junicho
助 手	明石 拓也	Takuya Akashi
助 手	渡部 明彦	Akihiko Watanabe
助 手	西尾 礼文	Remon Nishio
助 手	吉田 将士	Masashi yoshida
助 手	森井 章裕	Akihiro Morii
助手(前)	藤内 靖喜	Yasuyoshi Fujiuchi
助手(前)	野崎 哲夫	Tetsuo Nozaki
前任技術員	川内 葉子	Yoko Kawauchi

#### ◆ 著 書

- 1) 布施秀樹：精巢上体炎，精巢炎。今日の治療指針2004年度版，山口徹他編，785，医学書院，東京，2004。

#### ◆ 原 著

- 1) Furuya Y., Akashi T. and Fuse H.: Effect of Bu-zhong-yi-qi-tang on seminal plasma cytokine levels in patients with idiopathic male infertility. *Arch. Androl*, 50:11-14, 2004.
- 2) Nagakawa O., Akashi T., Hayakawa Y., Junicho A., Koizumi K., Fujiuchi Y., Furuya Y., Matsuda T., Fuse H. and Saiki I.: Differential expression of integrin subunits in DU-145/AR prostate cancer cells. *Oncol. Rep.*, 12:837-841, 2004.
- 3) Mizuno I., Fuse H., Fujiuchi Y., Nagakawa O. and Akashi T.: Comparative study between audiovisual-sexual stimulation test and nocturnal penile tumescence test using RegiScan Plus in the evaluation of erectile dysfunction. *Urol. Int.*, 72:221-224, 2004.
- 4) Mizuno I., Fuse H., Fujiuchi Y., Nagakawa O. and Akashi T.: Relationship between penile hemodynamic parameters assessed by color Doppler ultrasonography and penile rigidity recorded by the RegiScanPlus. *Urol. Int.*, 73:310-312, 2004.
- 5) Okumura A., Nizuno I., Nagakawa O. and Fuse H.: Telomerase activity is correlated with lower grade and lower stage bladder